

井原民報

第116号
発行所
日本共産党
井原市議事務所
井原市井原町103
TEL 62-6200
FAX 62-6209

井原市議会2月定例会が2月22日から3月17日まで開かれました。
この度、国保税の大幅引上げの議案が審議され、担当委員会ではこの案が否決されましたが、議院最終日の本会議で採択されました。森本市議は今回で連続84回目の質問をしました。質問と答弁の要点は次の通りです。

問 発光ダイオード(LED)照明への切りかえを積極的に進めては。

答 技術開発、コスト低減等の状況を見ながら、市道、公園、市内小・中学校、その他の市が管理する公共施設については、照明器具の老朽化に伴う更新時、省エネ、CO₂削減効果のある発光ダイオード照明を検討していきたい。

問 老朽化が進んでいる水道管敷設がえ計画を前倒しで実施を。

答 今後限られた予算を、効率的に執行しながら、安全・安心な水を使用するための解消に努める。

問 年齢に関係なくひとり暮らしの希望者には緊急通報装置の設置とPRを。

答 持病があるなど虚弱で一人暮らしで不安がある方については、65歳に達しない方でも対象になる。今後周知を図る。

平成22年度会計別予算一覧 (単位:万円)

区分	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	1,815,000	1,815,000
国民健康保険事業	493,790	493,790
簡易水道事業	36,070	36,070
食肉センター事業	155	155
住宅新築資金等貸付事業	420	420
老人保健医療事業	330	330
後期高齢者医療事業	60,130	60,130
公共下水道事業	252,230	252,230
介護保険事業	441,160	441,160
住宅団地開発事業	700	700
畑地かんがい給水事業	1,710	1,710
小計	1,286,695	1,286,695
企業会計		
水道事業	収益的 50,460	50,460
	資本的 25,208	40,900
病院事業	収益的 236,600	256,000
	資本的 16,076	25,193
工業用水道事業	収益的 2,640	2,640
	資本的 0	1,096
小計	330,984	376,289
計	3,432,679	3,477,984



質問する
森本市議

問 市民の安全確保のため、消えかかっている外側線の緊急な引き直しを。

答 日常の職員の手配は、緊急時には、道路の通行に支障をきたさないよう、直ちに計画の進捗を把握し、必要に応じて、道路の緊急な引き直しを行う。

2010年(平成22年)井原市議会2月定例会での質問議員の項目

- 上野 安是議員** ◆地域主権の確立に向けた市政運営について ◆子宮頸がんを予防するワクチン接種費用の助成について
- 森下 金三議員** ◆新市将来構想・建設計画の進捗状況について ◆市長の市政に取り組む決意について ◆火災時における個人を特定する情報の取り扱いについて ◆悪臭対策について
- 井口 勇議員** ◆市長の政治姿勢について ◆井原市特別養護老人ホーム「星の郷」の運営について ◆市道志村百町線改良工事について ◆美星地区への分譲住宅地造成について
- 川上 泉議員** ◆子育て相談に対する新年度の体制について ◆本市の人口減少問題にさらなる積極的な取り組みを
- 坊野 公治議員** ◆小学校就学前の健康診断について ◆ごみの分別の徹底と収集体系の見直しについて
- 宮地 俊則議員** ◆井原市立高校の今後のあり方について
- 佐藤 豊議員** ◆高齢化に伴う諸課題について ◆小・中、市立高校における「キャリア教育」の現状と課題について ◆住宅版エコポイント制度について
- 實戸 利昭議員** ◆公共交通対策について ◆福祉・文化ゾーンの創出について
- 藤原 浩司議員** ◆平成21年度の公共事業における進捗状況等について ◆井原桜まつり等、観光行政に対する考えについて ◆環境衛生及び再資源化委託について
- 三輪 順治議員** ◆地域主権と自治基本条例について ◆電子自治体の構築と地域の情報化について ◆協働のまちづくりと公民館の果たす役割について
- 河合 建志議員** ◆第13回雪舟サミット開催について
- 大嶋 二郎議員** ◆地球温暖化問題について ◆ごみ問題について ◆森林保全について ◆住宅版エコポイント制度の導入について
- 森本 典夫議員** ◆発光ダイオード(LED)照明への切りかえを積極的に進めては ◆老朽化が進んでいる水道管敷設がえ計画を前倒しで実施を ◆年齢に関係なくひとり暮らしの希望者には緊急通報装置の設置と市民へのPRを ◆市民の安全確保のため、消えかかっている外側線の緊急な引き直しを ◆食べ物アレルギーのある園児・児童・生徒の給食時の発作に対する対応の確立を ◆元西江原幼稚園跡地を舗装しますが、ご近所に対する「ほてり」対策と大量降雨時の排水対策をどう考えておられますか



市政についてのご意見ご要望をお聞かせ下さい。(電話 事務所62-6200 森本宅62-6061)

龍本豊文市長が井原市議会2月定例会開会日に平成22年度の予算編成の基本方針と主要施策について所信表明をしました。新しい項目を中心に、紙面の都合で、施策のごく一部になりますが、次にお知らせします。

- 小学校では校舎3棟、体育館1棟、中学校では校舎2棟、体育館1棟、幼稚園では園舎2棟の合計9棟の耐震診断を実施する外、校舎や体育館の合計16棟の補強計画、実施設計を予定。
- 出部幼稚園の園舎整備設計業務委託料を計上。
- 新たに10地区公民館に公民館主事を配置し、地区公民館活動の充実を図る。
- 井原図書館の耐震補強計画と実施設計業務を行う。
- 平成22年10月から新たに9幼稚園で給食実施。
- 省エネ改修として田中美術館に太陽光パネル設置と展示室、街路灯のLED化を図る。
- 笑って健康元気アップ事業が3年目を迎え、笑いと健康フォーラムをはじめ、笑顔の絵画コンテスト、笑顔の体操講師派遣やウォーキング大会などを実施するほか、新たに「笑いで健康体操」の作成を実施し、市民の健康づくりを支援する。
- 新たに肺炎球菌予防接種への助成を始める。
- 乳幼児や児童・生徒が健やかに成長するよう、乳幼児等医療給付の対象を拡大し、小学校4年生から中学校3年生までの入院費用を無料化する。
- 4月開館の「いばらサンサン交流館」において、三世代交流事業を実施する。
- 児童の健康を増進し情操を豊かにするための健全な遊び場として児童会館を新たに芳井地区に開館し、市内4館において各種事業を実施する。
- 子ども手当の創設、児童扶養手当の父子家庭へ拡大など子育て支援を強化する。
- 4月6日から井原市民病院で毎週火曜日に皮膚科外来を開設する。
- 井原市特別養護老人ホーム「星の郷」について、しばらくの間「星の郷」の運営は、市の直営で行う。
- ごみの減量化・再資源化を推進するため、新たにマイバック持参運動促進事業に取り組み、家庭ごみ収集体制アンケートを実施する。
- 旧美星水路観測所跡地に新たに(仮称)美星星空公園を整備する。



井原市議会は、左の人権擁護委員候補者二名の推薦に同意しました。

井原市芳井町西三原

田邊

祥宏

昭和22年生まれ
昭和24年生まれ
任期3年

井原市議会定例会
一般質問状況一覧

議員名	平成21年				質問回数
	6月	9月	11月	2月	
坊野 公治		○	○	○	3
藤原 浩司	○	○	○	○	4
上野 安晃	○	○	○	○	4
貫戸 利昭	○	○	○	○	4
西田 久志	○	○	○		3
馬越 宏芳		○	○		2
三輪 順台		○	○	○	3
大嶋 二郎	○	○		○	3
水野 忠範			○		1
川上 武徳		○			1
宮地 俊則		○	○	○	3
佐藤 豊	○	○	○	○	4
井口 勇		○		○	2
森下 金三				○	1
河合 建志	○	○	○	○	4
鳥越孝太郎			○		1
川上 泉	○	○	○	○	4
高田 正弘	議長				
藤原 清和			○		1
森本 典夫	○	○	○	○	4
藤原 正己					
乗藤 俊紀					
質問者合計	9	15	15	13	52

◆ 公約を履行し、市民サービスの向上を図る。◆ 条例・規則の整備を促進し、行政の効率化を図る。◆ 労働者の権利を保護し、労働環境の改善を図る。◆ 外国人労働者の参入を促進し、労働力の確保を図る。

◆ 外国人労働者の参入を促進し、労働力の確保を図る。◆ 外国人労働者の参入を促進し、労働力の確保を図る。◆ 外国人労働者の参入を促進し、労働力の確保を図る。

◆ 外国人労働者の参入を促進し、労働力の確保を図る。◆ 外国人労働者の参入を促進し、労働力の確保を図る。◆ 外国人労働者の参入を促進し、労働力の確保を図る。

請願・陳情の結果

- 新たにデマンド型乗り合いタクシーの試験運行を開始し、既存の公共交通体系の利用が困難な3エリアで予約制の乗り合いタクシーを週2回1日2便試験運行する。
- 市民サービス、利便性の向上を図るため、コンビニでの上・下水道使用料金収納システムを構築する。
- 市民が安心して市民活動、地域活動やボランティア活動に取り組むことが出来るよう、市民活動総合補償保険に新たに往復途上の補償を加える。
- 新たに小規模高齢化集落を活性化するための地域リーダー養成事業に取り組み、集落の維持、活性化の牽引者となるリーダーを養成する。

国保税を大幅引上げ

森本市議は解決策を示しながら反対

2月市議会で国保税の大幅引上げ議案を審議し賛成多数で可決しました。井原市の4割の世帯が国保に加入し、しかも、8割が年収200万円以下の世帯です。夫婦と子ども2人世帯では、現在支払っている国保税より20%も上がります。森本市議は、こんな大幅引上げを認めるわけにはいかないと反対の態度をとり、大幅引上げをしなくても済む方法として、市民の税金を55億円も備蓄している「財政調整基金」の一部を取り崩し、国保会計に繰入れることを提案しました。